※解析委託機関追加についての情報公開＊　　E2007-9991-14

研究機関：広島大学　　【ヒトゲノム・遺伝子解析研究】

研究課題名	副腎腫瘍の発生・進展に関わる遺伝子の解析
研究責任者名	広島大学病院　内分泌・糖尿病内科　講師　沖　健司
研究期間	2007年8月(倫理委員会承認後）～2025年3月

対象者

2007年12月から、広島大学病院内分泌・糖尿病内科でヒトゲノム・遺伝子解析研究『副腎腫瘍の発生・進展に関わる遺伝子の解析』について説明を受け、文書にて同意をされた患者さん.

意義・目的

副腎腫瘍の患者さんにおける腫瘍の発生や進展に関わる遺伝子の変異を調べ、これらの変異の有無による腫瘍の性質を評価し、今後の臨床応用に役立てることを目的としています．また、この研究により得られる遺伝子診断の結果を、報告することにより、今後の遺伝子診断や副腎腫瘍症例の診断に役立つ可能性があります.

方法

本研究では外部機関に委託し、次世代シークエンサーを用いて全遺伝子解析を行い副腎腫瘍の原因となる遺伝子の同定を行いますが、タカラバイオ、北海道システムサイエンス、東京大学に加え、この度、海外機関（Queen Mary University of London）へも解析を委託することしました.

試料は名前などがわからないようにしたうえで、委託機関へ送付します.

共同研究機関

埼玉医科大学	研究責任者　西本紘嗣郎
横浜労災病院　糖尿病内科・内分泌内科・代謝内科	研究責任者　鶴谷悠也
九州大学大学院医学研究院病態制御内科学	研究責任者　小川佳宏
聖マリアンナ医科大学　代謝・内分泌内科	研究責任者　曽根正勝

広島大学に情報を集め、広島大学が解析します

試料・情報の管理責任者

広島大学病院　内分泌・糖尿病内科　講師　沖　健司

個人情報の保護について

本研究は広島大学ヒトゲノム・遺伝子解析研究倫理審査委員会で審査を受けて承認をされています．研究は、プライバシー保護に十分留意して行います．情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください.

本研究への同意の撤回を希望される場合は、以下の窓口へお申し出ください．お申し出いただいても今後の診療等に不利益が生ずることはありません.

問合せ・苦情等の窓口

〒734-8551　広島市南区霞1-2-3

広島大学病院内分泌・糖尿病内科　講師　沖　健司

Ｔｅｌ：082-257-5196